

理解推進事業

個性的で力強い作品が勢ぞろい 恒例の美術作品展に感動の声続々

障がいのある方の絵画や書、工作物など400点あまりを展示した多摩市障がい者美術作品展が2016年11月27日から12月4日までの8日間、多摩センターのパルテノン多摩で開催され、訪れた人の目を楽しませた。26回目を迎えた今回は、廃材をリサイクルした『花火大会と街並みのジオラマ』や、大きな羽を付け色とりどりに装飾した『夢を乗せる車椅子』など、制作者の想いの詰まった作品が多数並んだ。

来場者からは「作品に込められた制作者の気持ちが伝わってくる心地よい空間でした」「力強い作品、可愛い作品、魅力的な作品がたくさんあった。ずっと続いて欲しい」などの声が多数寄せられた。



⊖みごと市長賞に輝いた青年教室の力作。毎年、個性豊かな作品を出品し来場者を驚かせているが、今回は空き缶や箱などを使い、組合わせた楽器に挑戦。紐を引いたり、叩いたりして、素朴な音色を楽しむことが出来る



⊖会場入り口の壁に浮かび上がった美術作品展の文字。一歩中に踏み込めば、そこは不思議の世界。ユニークな作品が壁に沿ってずらりと並び、訪れた者の五感を刺激した

資源化センター事業

年末から年始にかけ処理量もぐんとアップ 安全と健康に配慮し徹底リサイクル

11月の作業実績は12日間でおよそ60時間。総選別量は前月から約3%減の約84トンだった。これから処理量も増え、雪の心配もある季節だ。体調管理に努め、引続き適正処理に取り組む。

移動支援事業

初詣でやセールなどイベントもいっぱい 寒い冬を熱く楽しもう!!

11月は前月とほぼ同じ47件の利用があった。近場ではヴィータやサンリオピューロランド、多摩動物園など。遠出では町田リス園や相模湖プレジャーフォレスト、渋谷への同行依頼があった。

加盟団体紹介

アートひまわり
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎373-8455

NPO 法人あしたや共働企画
多摩市諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690

NPO 法人暉望(色えんぴつの家)グループ TOMO)
多摩市永山 3-9 ☎372-3382

NPO 法人くぬぎ
多摩市永山 3-9 ☎375-2583

NPO 法人どんぐりパン
多摩市諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236

サンクラブ多摩
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎356-0308

多摩市視覚障害者福祉協会
多摩市聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051

NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会

多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター3階 ☎338-7009

多摩市手をつなぐ親の会
多摩市落川 1234-2 ☎371-8809

多摩市聴覚障害者協会
多摩市聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

精神障がい理解に向けた講演会を開催

多摩市障害者福祉協会主催の講演会が平成2016年2月17日、聖蹟桜ヶ丘ヴィータ8階の関戸公民会大会議室で開催。

第15回となる今回は「障がいを持って生きるとは～精神障がいの理解と共生」と題し、障がい者を取巻く社会と支える仕組みづくりについて講演が行なわれる。

講師は日本精神保健福祉士協会の木太直人常務理事。大学で社会福祉を学び、卒後は聖マリアンナ会東横恵愛病院で医療相談室科長や地域ネットワーク推進室長などを務める傍ら、各種団体の理事長や代表の立場から障害福祉に携わってこられた。現場感覚に根ざした、具体的なシステムづくりの話が聞ける絶好の機会だ。

当日は9:30開場・10:00開演。予約不要で先着順。入場無料。手話通訳あり。問合せは実行委員会。Tel 042-356-0308まで。

多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ

relier

多障協だより
木枯らしのなかにも
新しき希望の号

2016年12月25日発行
2016年第3巻第12号 通巻28号

1月号

発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327
ホームページ <http://tashokyo.com>



酉年にあたって

平成29年は酉年であり、障害福祉にとって、酉の様に羽ばたく年であってほしいものだ。平成28年は、障がい者にとって理解しがたい津久井やまゆり園の事件があった。前回、私は犯人を糾弾したが、それだけでは物事の解決にはならない、何故犯人の様な思想が起きたのか。犯人は障がい者を抹殺すべき対象としか考えず、理解しようとしていない。これは、ナチスドイツのホロコースト(抹殺主義)そのものである。

私は車椅子使用の障がい者であるが、以前に他市で通りがかりの小学生に、店の人を呼んでくれるよう依頼し断わられた経験がある。多摩市ではその様な事がなかったので驚いた。考えるに、多摩市では「ひとときの和」という小学生と障がい者が触れ合う場があり、障がい者に理解の気持ちを持って成長するので、市民の皆さんがやさしいのではないかと。障がい者理解といても、実際に触れ合うか、想像力を逞しくする以外にない。

今月のひとこと

小学1年生の孫が、通信教材をタブレットで始めた。

正しい鉛筆の持ち方を覚えるほうが先だと思うが、タブレットだとすぐに結果が出るので復習しやすいとか、漢字の書き順の間違いを指摘しやすいなどの利点もあるという。

今、視覚障がい者の方にも普通にメールを送っている。音声読上げソフトがあるからだ。先日テレビで身体障がいの方が、僅かに動く身体の部分を使い、パソコンで素晴らしい絵を描いているのを見た。障がい者の方が、補助道具としてパソコンを活用すると、コミュニケーションも表現も格段に広がる。

こうした機器の普及で便利になるのはいいことだ。ただ、子どもには外で遊んで欲しいとも思うのだが。

NEWS～ピアスタッフ活動の拡大へ

統合失調症などの精神疾患を経験し、病院や障害福祉サービス事業所などで働くピアスタッフの全国組織、日本ピアスタッフ協会は11月12日と13日、「ピアスタッフはだれのため？」をテーマに掲げ、第5回全国ピアスタッフの集いを開催した。「薬や社会資源などの生きた情報を持っているし、職員同士の不調も鋭く見抜く」と当事者支援への有効性を示す発言があった。ピアスタッフをめぐるっては、厚生労働省が2016年度から研究班を設け、養成のあり方を研究中。審議会ではピアスタッフ自身の回復やその雇用者にも有効だと説明している。

目次

事業報告

酉年にあたって	1
支援センターの一ま	2
障がい者就労支援センター	3
移動支援事業	4
資源化センター事業	4
加盟団体紹介	4
精神障がい理解に向けた講演会を開催	4

連載

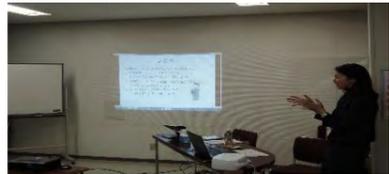
NEWS

今月のひとこと	1
プログラムカレンダー	2
今月のひとこと解説	3

4 ※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表すフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

SST生活講座



11月30日(水)に、南多摩保健所の安岡医師を講師に招き『感染症、保健所の仕事について』をテーマに生活講座を行なった。

冬場にかけて流行する、インフルエンザや感染性胃腸炎、また結核の感染経路や症状、予防策等の講義を受けた。

参加者からは、「手洗いの大切さが分かった」「結核について詳しく知る事が出来て良かった」「保健所の仕事の内容が知ることが出来た」などの声が上がリ、感染症や保健所の役割について知識を深める貴重な機会となった。

11月相談件数

内容	相談件数
電話	93件
面接	76件
訪問	6件
同行	7件
連絡調整	21件
フリースペース(延べ)	226名
プログラム参加(延べ)	82名
新規登録者	2名
今年度登録者	165名

外出プログラム

2月4日(土)に外出プログラムを開催します。
行き先…イオンシネマ多摩センター
時間…11:00~16:30(予定)
申し込み期間…1月14日~1月28日
保険代…30円(申し込み時先払い)
※詳細は、掲示または職員まで

お知らせ

今月の映画会

14日(土)は『銀の匙』を上映します。

農業とは縁のない家庭から農業高校へ入学した八軒勇吾は初体験の酪農実習や専門的な勉強に悪戦苦闘の日々を過ごしていた。

具体的な目標や夢を持つクラスメイトに劣等感を感じるが、高校生活を通じて成長していく。

しかし、そんな彼に新たな問題が待ち構えていた…

プログラムの中止

3日(水)のSST(固定第2)と6日(金)のイブニングタイムは、中止になります。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
年末年始の閉所日について 12月29日(木)から1月3日(火)までお休みです。			SST(固定第2)はお休みです		イブニングタイムはお休みです	利用者ミーティング 14:00~15:00
8	9	10	11	12	13	14
休み	休み		リラックス体操 14:00~15:00		イブニングタイム 17:45~19:30	映画会 『銀の匙』 13:30~15:30
15	16	17	18	19	20	21
休み	休み		スタッフ会議 10:00~12:00 SST(自由参加) 14:00~15:30		イブニングタイム 17:45~19:30	
22	23	24	25	26	27	28
休み	休み		リラックス体操 14:00~15:00		イブニングタイム 17:45~19:30	コーラス 14:00~15:30
29	30	31	第26回多摩市障がい者美術作品展 支援センターの一まから、個人作品として5名が絵画や水きり絵、刺繍など8作品を出展しました。出展者の皆さん、素敵な作品の制作お疲れ様でした！			

多摩市美術作品展

多摩市障がい者美術作品展が11月27日から12月4日パルテノン多摩で開催され、就労支援センターの登録者からも多くの出品が見られ、その中から個人で出品した2名の作品と作品に対する想いを紹介する。

吉田 雅恵さん



①多摩市教育委員会教育長賞を受賞した作品「イラスト紙コップ」。一つ一つに動物たちが描かれている。2~3年前から時間のある時に少しずつ描き始め作品として仕上げたという。棚も段ボールを組み立てて作った自作のもの



「コーヒーを振る舞いたいと紙コップを手にした時に、ただ白い紙コップが寂しいなと思い絵を描いてみたことが描き始めたきっかけ」と吉田さん。動物たちがティーパーティーをしているといったテーマでその時に浮かんだことを描いていき作品となった。この作品を通して「みんながみて楽しいな」「ほっこりするな」という気持ち「になっただけなら嬉しい」と語ってくれた。

kohei さん



①平日に1時間から2時間くらいずつかけ2か月ほどで完成したという「ハイビスカス」

小学2年生から近所の造形教室に通い始めたことがきっかけで絵を描き始めたという kohei さん。今回の出品作はアクリル絵の具によるハイビスカスと高校生の時に描かれた点描画。毎年アクリル絵の具や鉛筆を使用した点描画を点描画は高校のときに描いたもの。作品を仕上げている中で形と光、明るいところと暗いところの表現には気を付けているといい、作品には立体感がある。この作品展には毎年出品している kohei さん。最近の作品は植物が多いが、今後は虫や動物も描いていきたい想いがあるようだ。

●実績報告●
11月の実績報告

11月の相談件数は368件で、昨年同月比12%増。その内訳は就職前相談が27%減、就職後相談が45%増と大幅に増加した。本人(137件)と関係機関(93件)への支援で全体の63%を占めている。以下、企業・就職先82件、家族56件となっている。また、昨年同月と比較し、家族への支援が81%と大幅に増加した。企業・就職先へは41%増、関係機関へは4%増、本人への支援は8%減少した。

新規就職者は2人で、就労継続支援A型事業所での軽作業と、一般企業での事務職であった。

●今月のひと口解説●
ビジネスマナー編 vol.13
アドバイスを受けたら

働くようになると、新しい仕事や職場のルールなど覚えることがたくさんあります。職場の上司や同僚は覚えておかなければならないことをアドバイスしてくれます。職場で働くためには、このアドバイスを早く、確実に覚える必要があります。

- ① アドバイスはしっかりと聞き、復唱します
- ② 確実に理解するために一度実行してみます
- ③ 忘れてしまったり理解できないときは素直に聞き直します

☞覚えるのが難しかったり忘れてしまふようなものはアドバイスの内容を紙に書き、いつでも取り出せるようにしておくとう安心です。

